

(様式1)

県立高等学校重点校制度に係る事業計画書

学校名 鳥取西高等学校

重点項目	グローバル人材育成重点校	提出日	令和4年 12月 16日
------	--------------	-----	--------------

1 学校目標
「深い学び」「幅広い学び」を通じて新時代を創造するリーダーの育成を図る。
2 重点項目に係る目標
○学問の奥深さに触れ、深く学ぶことの喜びを実感できる授業を研究・実践する。 ○「グローバル人材育成重点校」として、グローバルリーダーに必要な資質を養成する。 ＜数値目標＞ ○海外研修・留学等に参加した生徒数35名 ○各種研究大会・学会や大会等への参加者数250名 上位入賞者60名以上 ○卒業時における生徒の4技能の総合的な英語力としてCEFRのB1～B2レベルの生徒の割合30% ○生徒対象SSH事業全体調査において、「グローバルで多文化的な課題を、批判的に多様な視点から分析する力」が向上したと答えた生徒が70%
3 事業計画（事業名、事業概要）
【高等学校課事業】 ○学校連携チャレンジ・サポート事業 ・英語ディベート活動に関する授業研究 生徒が英語をツールとして活用し、国際社会に通用する英語能力を育成するため、生徒によるディスカッション、スピーチ、ミニディベートなどのスピーキング活動等への指導力向上を図る。 【独自事業】 ①著者と語る講演会 日本のみならず、グローバルに活躍する著名講師を招き、講演会、質問・討論会をとおして世界で活躍できるビジョンや資質・能力について学ぶ。 ②ESDによる課題研究活動の推進 グローバルリーダー育成のために、授業等におけるディベートやスピーキング活動等で身につけた英語運用能力で、ESDをテーマにした国際会議や模擬国連で発表できる生徒を育成する。また、地域のESD資源を巡ることによって、グローバルに持続可能性を迫る生徒の資質・能力を育む。 ③グローバル探究学習 グローバル課題の解決に向けて、グローバル探究学習を通して学んだ成果を、全国規模の学会、大会等で発表し、他校の生徒と切磋琢磨することで、持続可能な社会作りの実現を目指す姿勢を涵養するとともに、グローバル人材としての資質を高める。 ④グローバル人材育成先進校視察 グローバル人材育成のため、主体的に英語をツールとして、文理融合・教科横断的な学習に取り組んでいる県外の先進校等への教員派遣をとおして、指導法の改善や新たな指導・活用法の導入を推進する。 ⑤全国フォーラム・セミナーへの生徒派遣 WWL及びSGHネットワーク校及びユネスコスクール加盟校の生徒による全国フォーラムやセミナーに生徒を派遣し、異文化学習、国際理解学習、地球的課題をテーマにした学びや発表の場に参加させ、交流を図る。 【その他】 ○ユネスコスクールに係る国際理解教育の取組 ・バーモント州の高校との学術交流であるSTEM教育発表会等をとおして、グローバル課題の解決のための意欲や能力を養う。

※枚数任意